

福知山地方本部

業務・組織課題集約

第3回支部分会代表者会議を開催

現場の課題を共有

管理駅体制の見直しについて



白熱した議論が展開された

地方本部は、3月26日(土)地
本会議室において、第3回支部分
分会・部会代表者会議を開催し
ました。各支部・分会・部会から
8名の代表者が出席しました。
福知山地方本部は、「管理駅
体制の見直し」について会社から
提案を受け、会社と議論を行っ
ており課題解決を図る必要があ
るとし、各駅の特状を考慮すべ
く議論をいたしました。内容は以下
の通りです。



挨拶する野垣委員長

(野垣執行委員長挨拶)

日々の業務、組合活動の取り
組みに感謝する。2022春闘は
大変厳しい状況にあり、年間臨
給についてはまだ回答を得てい
ない。今回の管理駅体制の見直し
実施時期は6月1日であるが、
働きやすい環境にすべく忌憚の
ない意見を要請する。今回の会
議で皆様から意見を頂いて、残
り2回の団体交渉に挑みたい。

1、業務課題への対応について
管理駅体制については、2013
年度に業務の平準化と異常時を
含めた即応体制とするべく、JR

西労組からの要望を実現させ
て、現在の管理エリアを見直
し、5管理駅体制としてしまし
た。各駅の特状を考慮した議
論を進めて行くこととします。
管理駅体制の見直しについて
は、3月10日に開催した経営
協議会小委員会において、提
案を受けました。本施策の目
的は「将来にわたり維持管理
できる駅運営体制の構築に向
けて管理駅体制を見直す」と
の説明を受けて、現行の5管理
駅体制から2管理駅(福知山
管理駅・豊岡管理駅)体制と
し、行政区分を考慮して、梁
瀬駅・和田山駅・養父駅・八鹿
駅・竹田駅・青倉駅を豊岡管
理駅とする体制としたことの
事です。管理駅体制の見直し
と並行して、駅体制の見直し
を行い、一部職名及び役割の
変更についても説明を受けて



西舞鶴駅分会 西澤委員長

2、組織課題への対応について
管理駅体制の見直しに伴い、JR
西労組福知山地方本部運営規則
の改正について関係機関との議論
が必要と考えています。駅分会5
分会の体制について、組合員の世
話役活動及び分会運営を行える
体制とする必要があります。
今後の進め方としては、各分会
は、組合員の意見を集約し必ず執
行委員会を開催し、方向性の議論
を行うこととします。また、支部
については、意見を取りまとめ、支
部所属の考え方を執行委員会に
おいて議論を行い、取りまとめを
行うこととします。

います。具体的には、地域共生の
関わりを重点に置き企画助役と
する。
係長については、地域共生、社員
教育等を効果的に行う、企画係
長の配置を福知山駅・綾部駅・豊
岡駅・福崎駅への配置が計画され
ています。
係員については、機動性を持たせ
た業務を行う体制についての前進
として、管理駅及び被管理駅の各
エリア管理や機動性を持たせた担
務としてエリア主任を、管理機動の
業務を踏襲し、更に旅客対応も行
う営業機動を新設する。
今後は団体交渉委員で議論を深
めていくこととします。
次回交渉 4月7日
4月22日

福知山地方本部は3月12日(土)
中丹労働者福祉会館において
交運共済担当者会議を開催
し、各機関の共済担当者が出
席しました。内容は以下の通
りです。
1、こくみん共済COOP契約
移転について
契約の移転時期は「2023
年7月1日」



交運共済西日本事業本部より、右から里内本部長、
白井事業推進部長、宮武係長が出席され説明を受けました。

交運共済担当者会議 経過と取り組みを確認 こくみん共済 COOP契約移転



熱心に説明を聞く共済担当者
移転の手続きの時にはしっかりと確認を!

- 2、2022年度新規採用取り組
みについて
2021年度のJR西日本の新規
採用者数585名に対して、総合
共済全員加入、任意セット共済5
51名加入。
2022年度の新規採用者への取
り組みは、引き続き、総合共済の
全員加入を基本とし、任意共済
のセット共済の加入促進。
- 3、2022年7月期任意共済の
加入促進の取り組みについて
火災共済と地震風水害共済
3保障制度(類焼損害保障、個
人賠償保障、借家人賠償保障)
交通災害共済
生命共済
- 4、2022年7月期任意共済のツ
ルについて
新規契約申込書について
継続契約申込書について
【申込締切日】
2022年4月28日(木)
- 5、新型コロナウイルス感染症の給
付金支払い状況について